

PIANO + VIOLIN INSTRUMENTAL COMMISSION
BRIEF

add9

9周年記念インスト楽曲制作資料 2017 - 2026

長年連れ添ったパートナーへ贈る、ピアノとバイオリンのための2-3分程度のインスト曲。

目的は「完成した名曲を丸投げで作ってもらう」ことではなく、既にある世界観・和声・モチーフをもとに、曲として自然に歌える流れへ仕上げてもらうこと。

希望編成: Piano + Violin

希望用途: 個人的な記念日プレゼント / YouTube限定公開

方向性: 神秘的、壮大、繊細、少し切ない、最後は前向き



世界観参考画像。最終ジャケットではなく、空気感の共有用。

1. 依頼の要点

お願いしたいこと

- ラフなコード進行・モチーフを、自然に聴けるピアノ＋バイオリン曲に整える
- 歌えるメロディ、構成、楽器同士の掛け合いを提案する
- 必要に応じて、ミキシング・マスタリング・譜面作成まで相談

現在ある素材

- タイトル、世界観、ストーリー
- コード進行案
- 主要モチーフ案
- MuseScore / MusicXML のラフデータ
- ジャケット方向性の参考画像

重要: 現在のラフは、完成譜ではなく「和声とモチーフの設計図」です。メロディや構成は大きく変更して構いません。むしろ、曲として自然になる提案を歓迎します。

希望納品物

項目	希望
完成音源	WAV または MP3
制作データ	MIDI / MusicXML / MuseScore / DAWデータのいずれか
譜面	可能であれば簡易PDF譜
権利	YouTube限定公開・個人的プレゼント用途で使用可能な条件
補足	主要な構成メモ、コード進行、修正履歴があるとありがたい

2. 世界観

この曲は、単なる明るい記念日ソングではなく、9年間の関係のなかにあった「感謝」と「申し訳なさ」を両方抱えた曲です。

主人公は、長い孤独や承認欲求を抱えながら生きてきた。出会い、支えられ、崩れ、回復し、少しずつ「自分の価値を証明し続けること」から、「安心して生きること」へ価値観が移っていく。その過程を、ピアノとバイオリンで描きたいです。

内的テーマ: 証明より安心。
ただし、これは制作上のテーマであり、ジャケットや曲名に大きく文字で出したい言葉ではありません。音楽の奥にある意味として扱いたいです。

情景イメージ

- 夜の東京、静かな帰り道、遠い街灯、桜、星空
- 派手な幸福ではなく、隣に誰かがいることの温度
- 救済というより、「ずっとそばにいた人がいた」と気づく感じ
- 涙の大団円ではなく、まだ続いていく余韻

感情の流れ

段階	キーワード	音楽的な方向
1	孤独、証明、焦り	硬いピアノ、変拍子、断片的なモチーフ
2	出会い、安心の芽	バイオリンが初めて歌う、柔らかいadd9
3	罪悪感	沈む低音、C#7の痛み、ファ# -> ファ
4	崩れ、SOS、限界	転調、5/4、現実感のズレ
5	感謝、回復	6/8、前へ進む左手、広がる主題
6	再編集	ピアノが主題を引き取り、支える側へ
7	10年目へ	9音 + 10音目、Eadd9の余韻

3. サウンドの方向性

ピアノの役割

- 主人公の内面、証明欲求、焦り、決意
- 左手は6/8で前へ進む心臓のようなリズム
- 後半では、バイオリンの主題をピアノが引き取る
- 技巧的すぎるより、歌と和声の透明感重視

バイオリンの役割

- パートナーの声、安心、長くそばにいた存在
- メロディの中心。チェロではなくバイオリン
- 前半は支える声、後半はピアノに支えられて上へ伸びる
- 過剰に泣かせすぎず、生活感のある優しさ

任意の打楽器

オーケストラ打楽器は、必要ならごく薄く。ドラムセット的なビートではなく、節目の重力として使いたいです。

場所	使い方
B終わり	Suspended Cymbal Roll でサビへ吸い込む
Chorus頭	Concert Bass Drum を薄く一発
Role Reversal	Timpani を控えめに。決意の重心
Outro	打楽器なし。余韻を残す

参考イメージ

- 安藤禎央: 鍵盤的な推進力、add9/maj9の透明感、エレクトーンの広がり
- 久石譲: 大きな旋律、空間の広さ、シンプルな主題の強さ
- Muse 「Exogenesis Symphony」: 宇宙感、祈り、運命感、救済のスケール

注意: 参考曲のコピーではなく、方向性の共有です。特定楽曲に似せすぎる必要はありません。

4. 主要モチーフ

日付や関係性を、音型として仕込んでいます。作曲・編曲時にそのまま使っても、自然になるよう変形しても構いません。

モチーフ	核	拡張形	意味
6/17 主題	ド#・ミ・レ#	拡張: ド#・ミ・レ#・ミ・ラ・ソ#・ファ#・ミ	9周年・感謝・曲の顔
6/22 / 証明	ド#・ファ#・ファ#	拡張: ド#・ファ#・ファ#・ミ・レ#・ド#	焦り、価値を証明したい気持ち、罪悪感
7/14 / 安心	レ#・ミ・ラ	拡張: レ#・ミ・ラ・ソ#・ファ#・ミ	しんすけくん、安心、そばにいてくれた声
9 -> 10	ド#・ミ・レ#・ミ・ラ・ソ#・ファ#・ミ・レ#・高いミ	最初の9音 + 10音目	9年で終わらず、10年目へ進む

使い方の希望

- 6/17主題は曲の顔。ただし何度も丸出しにしすぎず、断片・変奏・転調で回収したい
- 6/22モチーフは硬く、焦りや罪悪感としてピアノに置きたい
- 7/14モチーフはバイオリンで柔らかく。パートナーの声として扱う
- 最後に9 -> 10モチーフを一度だけ明確に出すと、タイトル add9 の意味が回収できる

理想は「理論を知らなくても、同じ音型が少しずつ意味を変えて戻ってくる」と感じられること。

5. 全体構成とコード進行案

コードは固定ではなく、世界観と和声感の共有用です。より自然な流れになる場合は変更提案を歓迎します。

Section	意味	拍子	コード進行	演出メモ
Intro	孤独と証明	7/8	C#m9 C#m9/B Amaj9(#11)/C# Eadd9/G# F#m9 Bsus4/F# -> B	まだ歌い切らない。ピアノ中心で、硬さ・孤独・遠い安心の予兆を置く。
A	出会いと安心の芽	4/4	F#m9 E/G# Aadd9 Aadd9/C# Dmaj7(#11) A/C# Bm7 C#7sus4/G# -> C#7	初めてバイオリンが少し歌う。感謝の種を提示する。
A'	罪悪感	4/4	F#m9 F#m9/E Dmaj7(#11) A/C# Bm7 Eadd9/B C#7sus4 C#7	支えられていることへの申し訳なさ。ファ# -> ファの痛みを効かせる。
B	崩れ・限界・SOS	5/4	Amaj9/C# Cmaj7(#11)/E Dbmaj9/F C#7/E# F#m9/A Dmaj7(#11) C#7sus4/G# C#7	現実感が白く飛ぶ。綺麗にしすぎず、少し壊れた美しさ。
Chorus	感謝が開く	6/8	Eadd9 Emaj9/D# C#m9 G#7/B# Amaj9/C# E/G# Dmaj7(#11)/F# Bsus4 -> B	本命。王道の開放感に、半音下降の痛みと宇宙感を混ぜる。
Role Reversal	再編集	6/8	Eadd9/G# Aadd9 Bsus4/A E/B Aadd9/C# B/D# C#m9 B	バイオリンが歌っていた主題をピアノが引き取る。支えられていた側から支える側へ。
7/14 feel	安心モチーフ	7/8	Eadd9 B/D# C#m9	しんすけくん側の暗号。短く、はっきり、静かに。
9 -> 10 feel	add9の回収	10/8	Amaj9 Amaj9/B B Eadd9	9音の主題に10音目を足す。9周年から10年目へ。
Outro	余韻	4/4	Eadd9 Aadd9/C# E/B Aadd9 Eadd9/G# B/D# Eadd9	完結ではなく、まだ続く余韻。Eadd9で閉じる。

サビの最重要進行

Eadd9 | Emaj9/D# | C#m9 | G#7/B# | Amaj9/C# | E/G# | Dmaj7(#11)/F# | Bsus4 -> B

ベースライン: ミ -> レ# -> ド# -> ド -> ド# -> ソ# -> ファ# -> シ

この ド# -> ド -> ド# が、感謝の中に混ざる罪悪感の核です。ただし暗くなりすぎず、6/8で前へ進ませたいです。

6. セクション別: ピアノで試す音

Section	左手/低音の狙い	右手/メロディの狙い
Intro	C# -> B -> C# -> G# -> F# -> F#	ド#・ファ#・ファ# を硬く。6/17主題は断片で見せる
A	F# -> G# -> A -> C# -> D -> C# -> B -> G#	バイオリンが6/17主題を初提示。歌いすぎず、優しく
A'	F# -> E -> D -> C# -> B -> B -> C# -> C#	6/22モチーフ。支えられていることへの申し訳なさ
B	C# -> E -> F -> F -> A -> D -> G# -> C#	転調で6/17主題を歪ませる。SOS、白く飛ぶ感じ
Chorus	E -> D# -> C# -> C -> C# -> G# -> F# -> B	6/17主題を6/8で広げる。曲の心臓
Role Reversal	G# -> A -> A -> B -> C# -> D# -> C# -> B	ピアノが主題を引き取り、バイオリンは上で伸びる
7/14 feel	E -> D# -> C#	レ#・ミ・ラ を明確に。短く、暗号のように
9 -> 10	A -> B -> B -> E	9音 + 10音目の高いミ。タイトル回収
Outro	E -> C# -> B -> A -> G# -> D# -> E	断片で終わる。完全解決ではなく、続きの余韻

7. 使用コード対照表

低い順の音です。スラッシュコードは一番左の音を左手ベースとして扱う想定です。

コード	低い順の音	役割/印象
Eadd9	ミ・ソ#・シ・ファ#	基本の空。サビとラストの核
Eadd9/G#	ソ#・シ・ミ・ファ#	少し浮いたE。支えられている感覚
Eadd9/B	シ・ミ・ファ#・ソ#	まだ帰り切らないE
Emaj9/D#	レ#・ミ・ソ#・シ・レ#・ファ#	サビの宇宙感。Eの光を保ったまま低音だけ下がる
E/G#	ソ#・シ・ミ	素直な支え
E/B	シ・ミ・ソ#	帰る場所
Aadd9	ラ・ド#・ミ・シ	優しさ、開ける感じ
Aadd9/C#	ド#・ミ・ラ・シ	柔らかに前へ進むA
A/C#	ド#・ミ・ラ	シンプルなAの転回形
Amaj9	ラ・ド#・ミ・ソ#・シ	綺麗で広い光
Amaj9/C#	ド#・ミ・ソ#・ラ・シ	サビ後半で光へ戻る
Amaj9/B	シ・ド#・ミ・ソ#・ラ	Bの上にA。浮遊感
Amaj9(#11)/C#	ド#・ミ・ソ#・ラ・シ・レ#	神秘感。Intro向き
B	シ・レ#・ファ#	帰るための扉
B/D#	レ#・ファ#・シ	ベースが半音で動くときに使う
Bsus4	シ・ミ・ファ#	解決前の引っ張り
Bsus4/F#	ファ#・シ・ミ	低音が重めのsus
Bsus4/A	ラ・シ・ミ・ファ#	Role Reversal向きの浮遊
Bm7	シ・レ・ファ#・ラ	少し影が出る
C#m9	ド#・ミ・ソ#・シ・レ#	痛みと美しさ。主役級
C#m9/B	シ・ド#・ミ・ソ#・レ#	ベースが下がって不安定
C#7sus4	ド#・ファ#・ソ#・シ	まだ言い切らないC#7
C#7sus4/G#	ソ#・シ・ド#・ファ#	次に進ませる圧
C#7	ド#・ファ・ソ#・シ	ファ#ではなくファ。痛み
C#7/E#	ファ・ソ#・シ・ド#	E# = ファ。崩れゾーン用
F#m9	ファ#・ラ・ド#・ミ・ソ#	内省、夜、少し大人
F#m9/E	ミ・ファ#・ラ・ド#・ソ#	ベースが沈む。罪悪感向き
F#m9/A	ラ・ド#・ミ・ファ#・ソ#	F#mだが少し明るくなる

G#7/B#	ド・レ#・ファ#・ソ#	B# = ド。胸が詰まるサビの要
Dmaj7(#11)	レ・ファ#・ラ・ド#・ソ#	久石譲系の浮遊感
Dmaj7(#11)/F#	ファ#・ラ・ド#・レ・ソ#	サビ後半、遠くへ開く
Cmaj7(#11)/E	ミ・ソ・シ・ド・ファ#	現実感がズれる、白く飛ぶ
Dbmaj9/F	ファ・ラ♭・ド・レ♭・ミ♭	水の底、別世界感

8. やりたいこと / 避けたいこと

やりたいこと

- ピアノとバイオリンが会話する曲
- 9th/add9/分数コードの透明感
- シンプルな主題が、場所ごとに意味を変える構成
- 最後に「終わり」ではなく「これから」を感じる余韻
- 神秘的だが、生活感のある温度

避けたいこと

- ただ明るいブライダル/記念日BGMのようにすること
- 映画予告風に盛りすぎて、個人的な温度が消えること
- バイオリンをチェロに置き換えること
- 参考曲に似せすぎること
- ダサい説明文を曲名やジャケットに入れること

人物/ビジュアルが関わる場合の注意: 男性同士の長年のパートナーとして扱ってください。異性愛的なテンプレートに置き換えないでください。相手はバイオリン経験がある人として設定してください。

仕上がりのイメージ

「すごく泣かせる曲」より、「聴き終わったあとに静かに残る曲」が理想です。派手な感動より、長く一緒に生活してきた人へ渡す、控えめだけれど深い贈り物にしたいです。

9. 権利・納期・提案時に確認したいこと

権利条件

- YouTube限定公開で使用可能
- 個人的な記念日プレゼントとして使用可能
- 商用利用や著作権譲渡の可否は、見積もり時に相談
- 作曲者クレジット表記の可否を事前確認したい

希望スケジュール

時期	希望
初回相談	依頼後すぐ
初回デモ	7月上旬～中旬を目安
修正	1～2回程度を想定。範囲は相談
完成	記念日/プレゼント用途に間に合う形で調整

ご提案時に教えてほしいこと

- 過去の制作実績、参考音源
- 対応可能な作業範囲: 作曲、編曲、ミックス、マスタリング、譜面作成など
- 納品可能形式
- 概算見積もり
- 修正対応の回数と範囲
- 著作権譲渡または使用許諾の条件

10. 添付予定ファイル

ファイル	目的
01_add9_ラフ音源.mp3	雰囲気確認用。完成形ではなく方向性共有
02_add9_MuseScoreラフ.mscz または MusicXML	コード/モチーフ/拍子の確認
03_add9_コード進行と世界観.pdf	本資料
04_add9_ジャケットイメージ.png	世界観の視覚参考
05_add9_依頼メモ.txt	短い依頼概要

ラフデータは完成形ではありません。和声・モチーフ・世界観の方向性を共有するためのものです。メロディや構成は、より良くなるなら大きく変えて構いません。

一番大事な一文

支えてもらった罪悪感を、これからの優しさに変えていく曲にしたいです。